

2026 年 8 月



FDI AGENDA



投資・財務局からのメッセージ

7 月は、高レベルの戦略的外交、主要な産業の節目、そして拡大するグローバルパートナーシップによって形作られた画期的な月となりました。これらの進展は総じて、トルコの経済的レジリエンスの強化、国際協力の深化、そして投資、イノベーション、戦略的産業の拠点としての地位強化に対する明確な注力を反映しています。

この勢いの中心にあったのは、22 年ぶりにトルコで開催された NATO 首脳会議でした。レジェップ・タイイップ・エルドアン大統領のリーダーシップの下で招集されたこのサミットには、同盟国全域から国家元首、上級意思決定者、トップエグゼクティブが集まりました。

この画期的なイベントは、グローバルな安全保障体制におけるトルコの戦略的役割を強調しただけでなく、同国の高度な製造能力、防衛技術エコシステム、そして高付加価値投資の可能性を国際的なステークホルダーに披露しました。

テクノロジーとイノベーションは、月を通じてトルコの投資アジェンダの最前線にあり続けました。この勢い

は内部にも反映され、投資・財務局の OKR（目標・主要成果）フレームワークは、組織の有効性への貢献が認められ、産業技術省から生産性賞を受賞しました。

Google は、トルコにおける公共部門のイノベーションとクラウド機能を加速させるため、AI トゥモロー・サミットにおいて 200 万米ドルの戦略的イニシアチブと政策ロードマップを発表しました。デジタルエコシステムの成長に対するこのコミットメントは、ワシントン D.C. で開催されたサイバーセキュリティ・ネットワークワーキング・イベントにおいてさらに強化されました。同イベントにおいて、投資・財務局は、米国のビジネスリーダーに対し、トルコの進歩するサイバーセキュリティ能力とハイテク投資の可能性を強調しました。特定分野に特化したプラットフォームは、トルコが世界のグリーン移行の優先事項と歩調を合わせていることをさらに示しました。BESS 投資フォーラムにおいて、投資・財務局は、バッテリーエネルギー貯蔵システムに支えられ、2035 年までに風力および太陽光発電の設備容量を 120GW に到達させるというトルコの野心的な目標を概説しました。

この物語は、「イタリア・ミーツ・トルコ：クリーンエネルギー移行」イベントにおいてさらに強化されました。同イベントでは、トルコが COP31 の開催準備を進める中、再生可能エネルギーインフラおよび技術移転における国境を越えた投資機会が紹介されました。

参加型金融もまた、月を通じて重要な優先事項であり続けました。ロンドンで開催された国際 Takaful サミットには、世界のイスラム金融エコシステムの主要なステークホルダーが集結しました。

議論は、イスタンブール金融センター（IFC）の戦略的な位置付け、その競争力のあるインセンティブの枠組み、そして参加型金融および持続可能な気候投資の地域ハブとして機能するというビジョンに焦点を当てました。

アジア、ヨーロッパ、そしてそれ以外の地域においても、投資・財務局は、ターゲットを絞ったセクター別の関与を通じて、トルコの投資の物語を前進させ続けました。

アジアでは、投資・財務局は海外投融資情報財団（JOI）と協力し、日本で機械産業に特化したロードショーを実施しました。

同様に、カタルーニャ州の ACCIÓ との合同セミナーでは、トルコの強固な化学産業における投資機会が強調され、グローバル・バリューチェーンの結節点における高度な製造業の拠点としての同国の地位が再確認されました。

これらの関与を通じて、投資・財務局はトルコのグローバルな投資の物語を強化し、国際的な投資家、ビジネスコミュニティ、機関パートナーとの対話を深め続けました。

投資・財務局は設立 20 周年を迎えるにあたり、今後もグローバルなステークホルダーと協力し、新たな機会を創出し、投資家の信頼を強化し、主要な直接投資（FDI）先としてのトルコの長期的な競争力を高めてまいります。



A・ブラック・ダールオール 投資・財務局長



アンカラでの NATO 首脳会議、産業・投資・イノベーションに関する主要なコミットメントを達成

トルコは、アンカラの大統領府で第 36 回 NATO 首脳会議を成功裏に主催し、NATO 全 32 加盟国の首脳、100 人近い閣僚、1,000 人の代表団、そして約 4,800 人の上級外交官、国際機関の代表者、招待客が一堂に会しました。

レジェップ・タイイップ・エルドアン大統領が主催し、マーク・ルッテ NATO 事務総長が議長を務めたこの 2 日間の首脳会議は、アンカラで開催された初の NATO 首脳会議であり、2004 年のイスタンブール首脳会議から 22 年を経て、トルコが NATO 首脳会議を主催するのは 2 回目となりました。

大統領府国立図書館が国際メディアセンターとして機能し、1,800 人分の作業スペース、40 の編集室、広範なライブ放送設備を提供しました。2,500 人以上のジャーナリストが首脳会議取材し、TRT が 96 台のカメラ、18 台の中継車、26 の放送拠点を使用して調整した放送により、アンカラの様子が世界中の視聴者に届けられました。この広範な国際報道は、アンカラの国際的な認知度を大幅に高め、高レベルの国際対話の主要な開催地としてのトルコの地位を強化しました。

首脳会議はまた、首都に多大な経済活動をもたらしました。宿泊、飲食、交通、小売、その他のサービスへの支出は、アンカラの経済に約 9 億トルコリラをもたらしました。数千人の代表団、メディア関係者、ゲストの到着は、観光およびサービス部門全体で強い需要を生み出し、大規模な国際イベントを主催することの直接的な経済的価値を実証しました。



アンカラ首脳会議宣言は、産業能力、投資、技術変革を同盟の中心的優先事項に位置付けました。同盟国は500億米ドルを超える新たな調達コミットメントを発表し、集団的な製造能力の拡大、産業界との協力強化、イノベーションの加速に合意しました。

同宣言はまた、同盟国間の防衛貿易障壁の削減と、産業協力を深めるための NATO パートナーシップのさらなる活用を強調しました。これらの措置は、より大規模で統合されたサプライチェーンを支援し、共同生産を促進し、同盟国市場全体で事業を展開する企業にとって、より予測可能なビジネス環境を創出することが期待されています。

これらのコミットメントは、防衛関連投資のより広範な拡大に基づいています。欧州の同盟国とカナダは、2025年に中核的な防衛能力への投資を1,390億米ドル以上増加させました。アンカラで下された決定は、この追加支出をより大きな生産能力と強化された運用能力に変換し、同時に産業の強靱性を強化することを目指しています。

首脳会議で特定された優先投資分野には、統合防空・ミサイル防衛、長距離精密打撃能力、無人システム、先端技術、インテリジェンス、宇宙、サイバーインフラが含まれます。同盟国はまた、相互運用可能な大西洋横断デジタルインフラを開発し、高度な人工知能モデルの展開を拡大することに合意しました。

首脳会議と並行して開催された NATO 首脳会議防衛産業フォーラムには、同盟国の閣僚、高官、および100社を超える企業の代表者が集まりました。議論は、防衛投資のコミットメントを、増産、共同調達、技術革新、そして政府、金融機関、産業界間のより強力な協力へと変換することに焦点を当てました。



これらの目的を支援するために、いくつかの新しいメカニズムが導入されました。NATO 産業フロントドアは、企業と NATO 間の関与を簡素化するために立ち上げられ、一方で「産業・NATO 協力戦略」は、より緊

密な協力のための枠組みを確立しました。

「NATO イノベーション・スケールアップ・パッケージ」も、新興技術の採用と商業化を加速させるために承認されました。

NATO はまた、「ドローン・エッジ」イニシアチブの下、今後 5 年間でドローン対策能力に 400 億米ドル以上を投資する計画を発表しました。さらに、主要な金融機関に対し、防衛セクターへの資本流入を増やすよう求める行動喚起が行われ、生産拡大、研究開発の実施、および先端技術の商業化を目指す企業を支援することとなりました。

エネルギー安全保障とインフラの強靱性も、投資アジェンダにおいて重要な位置を占めました。

同盟国は、NATO の燃料貯蔵・配送インフラを近代化し、同盟の東側側面に向かって伸びるパイプラインを含む新しい施設を開発するために、270 億ユーロの投資を発表しました。

サミットの組織化の成功は、主要な国際イベントを主催する上でのトルコの組織能力、高度なインフラ、そして豊富な経験を実証しました。交通、宿泊、通信、メディアサービス、イベント調整を網羅する包括的な準備により、首都での日常生活の機能を中断させることなく、サミットを円滑に進行させることができました。





シムシェキ大臣、イスタンブールでトルコ・EU ハイレベル経済対話を主催

メフメト・シムシェキ財務大臣は、トルコ・EU ハイレベル経済対話のため、欧州委員会のヴァルディス・ドンブロウスキス経済・生産性および実施・簡素化担当委員、ならびに欧州連合（EU）の上級代表らをイスタンブールに迎えました。この会議では、トルコと EU 間の経済協力の強化、競争力の向上、および経済統合の深化の推進に焦点が当てられました。

シムシェキ大臣は、地政学的な不確実性が高まり、世界的な競争が激化する中、経済協力を拡大することの重要性を強調しつつ、EU 加盟がトルコの戦略的目標であり続けることを再確認しました。「EU 加盟は、トルコの戦略的目標であり続けます。地政学的な不確実性、サプライチェーンの再構築、そして世界的な競争が激化する中、トルコと EU 間の経済統合の深化は、これまで以上に重要になっています」とシムシェキ大臣は述べました。

シムシェキ大臣は、トルコが新たな貿易、エネルギー、輸送回廊、重要鉱物、防衛産業協力、および復興能力を通じて、欧州の競争力強化に向けたアジェンダに貢献できる立場にあり、欧州の強靱性と長期的な競争力を強化していると強調しました。

トルコ・EU 関税同盟の近代化が、議題の重要な項目として取り上げられました。参加者は、その対象範囲をサービス、農業、公共調達、デジタル貿易に拡大することで、約 4000 億ユーロの追加的な貿易の可能性を引き出される可能性がある旨を指摘しました。

対話では、提案されている産業加速化法（Industrial Accelerator Act）も歓迎され、特にトルコで製造された製品を EU 域内原産品と同等とみなす同法の認識が評価されました。

経済パートナーシップを支える法的枠組みをさらに強化する取り組みの一環として、トルコは、トルコの公共調達市場に参加する EU 企業に対して相互に平等な待遇を確保するため、公共調達法を改正すると発表しました。

シムシェキ大臣は、ハイレベル経済対話に加え、欧州投資銀行（EIB）、欧州復興開発銀行（EBRD）、欧州評議会開発銀行（CEB）の代表者らと会談しました。

また、同氏はハイレベル・ビジネス対話の下、トルコおよび EU のビジネスリーダーらと合流し、投資機会

や持続可能な成長を支援する上での民間セクターの役割について議論しました。

継続的な経済統合と投資の重要性を強調し、シムシェキ大臣は次のように述べました。「より分断された世界において、我々はより大きな統合に投資すべきです。関税同盟の近代化は戦略的優先事項です。公的資金だけでは将来の投資ニーズを満たすことはできず、民間資本を大規模に動員することが不可欠となります。安定的で予測可能、かつ競争力のあるビジネス環境は依然として重要な優先事項であり、トルコにおける継続的な投資、生産、持続可能な経済成長を支えています」

ハイレベル経済対話は、経済協力の深化、競争力の強化、そして将来に向けたより強靱で統合された経済パートナーシップの構築に対する、トルコと EU の共通のコミットメントを再確認しました。



カジュル大臣、ゾングルダクでの開所式でトルコの投資の勢いを強調

メフメト・ファティ・カジュル産業技術大臣は、黒海西部の都市ゾングルダクでの一連の開所式に出席し、同市の産業・技術開発アジェンダの一環として7つのプロジェクトを開始しました。

ビュレント・エジェヴィット大学で開催されたゾングルダク産業技術プロジェクト開所式で演説したカジュル大臣は、トルコの国際的な存在感の高まりを強調し、すべての都市を生産、雇用、輸出の原動力へと変革するという政府のビジョンを強調しました。

カジュル大臣は、レジェップ・タイイップ・エルドアン大統領の議長の下、大統領府で国家元首や政府首脳が集まったNATO アンカラ・サミットをトルコが主催したことは、世界舞台における同国の影響力の高まりを証明するものであると述べました。

大臣は、このサミットが、交渉のテーブルで成果を形作り、世界中の同盟国にとって信頼できるパートナーとして立つ、世界安全保障における極めて重要なアクターとしてのトルコの立場を反映していると強調しました。

投資面について、カジュル大臣は、トルコの年間輸出額が過去23年間で360億米ドルから2780億米ドル近くまで増加し、中国から中央ヨーロッパに至る広大なベルト地帯において、同国が主要な輸出国としての地位を確立したことを強調しました。

ゾングルダクだけでも、同期間にインセンティブによって8870億トルコリラの投資が促進され、2万2000人以上の雇用が創出されたほか、1万2000社以上の中小企業が27億トルコリラの支援を受けました。

カジュル大臣はまた、キリムリにあるモダン・カルトン社の生産施設を開所しました。これは8億5000万米ドルの投資によるもので、年間生産能力は65万トンに達し、フル稼働時には300人の雇用を創出する見込みです。

リサイクル原材料と資源効率の高い生産を軸に構築されたこの施設は、高付加価値で持続可能な製造に対す

るトルコのコミットメントを体現しており、同時に同国の競争力のあるコスト構造と欧州市場への物流上の近接性を強化しています。

トルコが産業変革を推進する中、同国は製造、イノベーション、投資の結節点としての地位を固め続けており、「トルコの世紀」において持続可能で高付加価値成長を実現する地域随一の原動力となるという野心を再確認しています。



ボラット大臣、シリアとの貿易・投資機会の拡大を強調

イスタンブールでシリア自由貿易・工業地帯および投資環境会議が開催され、政府高官やビジネス代表者が集まり、投資機会とトルコ・シリア経済関係の将来について議論しました。

会議には、オメル・ボラット貿易大臣、シリア陸海港湾総局のクタイバ・アーメド・バダウィ局長、トルコ商工会議所連合会（TOBB）のリファト・ヒサルジュクルオール会長が出席しました。

ボラット大臣は会議での演説において、2025年のトルコとシリア間の二国間貿易額が37.5億米ドルを超え、40パーセント以上の増加を記録したと述べました。

大臣は、両国間の貿易をさらに拡大するという政府のコミットメントを再確認しました。

ボラット大臣はまた、両国の指導者が設定した100億米ドルの二国間貿易目標を達成するという目標を強調しました。

大臣は、国境検問所での貿易および旅客の往来が中断なく続いていることに言及し、ヌサイビン・カミシリ国境検問所を年末までに貿易、旅客輸送、および通過業務のために開放する取り組みが進められていると発表しました。

2026年4月以降のトルコとシリア間の通過貿易の再開を強調し、ボラット大臣は、この進展がサウジアラビア、アラブ首長国連邦、カタール、クウェート、オマーン、バーレーン、さらにはヨルダン、レバノン、イラクを含む湾岸諸国への貿易フローを改善したと述べました。

大臣は、約14年間閉鎖されていたサウジアラビアとヨルダンを経由する通過ルートが定期的な運用を再開し、地域の接続性と物流を強化していると指摘しました。

ボラット大臣はまた、2025年にトルコとシリアの間に合同税関委員会および合同経済貿易委員会（JETCO）が設立されたことを振り返り、9月には幅広い国際的な参加を得てダマスカス国際見本市が開催される予定であると付け加えました。





Google、トルコの公共部門のイノベーションを推進するための戦略的 AI イニシアチブを発表

人工知能政策協会（AIPA）が主催する「AI Tomorrow Summit」において、Google が包括的な戦略的イニシアチブを発表したことで、公共部門全体での AI 導入を加速させるトルコの取り組みはさらに勢いを増しました。

この取り組みは、200 万米ドルの新たな Google.org による投資と「政府のための AI」政策ロードマップを導入するものであり、AI の責任ある導入を通じて経済的・社会的価値を創出しながら、公共サービス全体での AI 活用を拡大するためにトルコと協力するという Google の長期的なコミットメントを反映しています。サミットで登壇した Google トルコの公共政策・政府関係担当ディレクターであるトルガ・ソバジュ氏は、世界の AI 情勢におけるトルコの役割が高まっていることを強調しました。

「世界中の先見の明のある政府は、公共サービスを変革し、次世代の経済価値を解き放つために AI を拡大しています。強力なデジタルインフラとダイナミックな人材プールを持つトルコは、この世界的な変革を主導する独自の立場にあります。昨年、グローバルなハイパースケーラーによって発表された現地の Google Cloud リージョンは、このデジタルな未来の重要な構成要素となるでしょう」

この取り組みの一環として、Google はトルコの主要機関と協力し、公共への影響が大きい分野で AI アプリケーションを推進します。

主要プロジェクトの一つとして、カンディリ観測所・地震研究所（KRDAE）の国家地震監視ネットワークを、AI を活用した技術によって近代化します。Google Cloud の機能を活用し、このプロジェクトは地震監視の速度と精度を高め、早期警戒能力を強化することを目指しています。

もう一つのプロジェクトでは、AI エコシステム協会によって作成された「Türk-Ses」プラットフォームをさらに発展させます。これは AI を使用して音声パターンを分析し、アルツハイマー病を含む神経認知障害を早

期に検出し、より早い診断と介入を可能にするものです。

「AI for Türkiye」ロードマップは、行政への AI の責任ある統合の加速、イノベーションを促進する政策環境の醸成、そして労働力全体での AI 能力の拡大という 3 つの戦略的優先事項を中心に構築されています。クラウドファーストおよび AI ファーストの公共政策、最新のデータインフラ、そして実現を可能にする規制の枠組みが、この変革の基盤として特定されています。

Google はまた、公的機関と協力し、公務員やセクターリーダーの AI 能力強化に取り組んでいます。今後を見据え、このイニシアチブは、教育、物流、サイバーセキュリティなどのセクター全体で AI およびクラウド技術のより広範な展開を想定しており、デジタルレジリエンスの向上、生産性の向上、そしてトルコの国際競争力に寄与します。



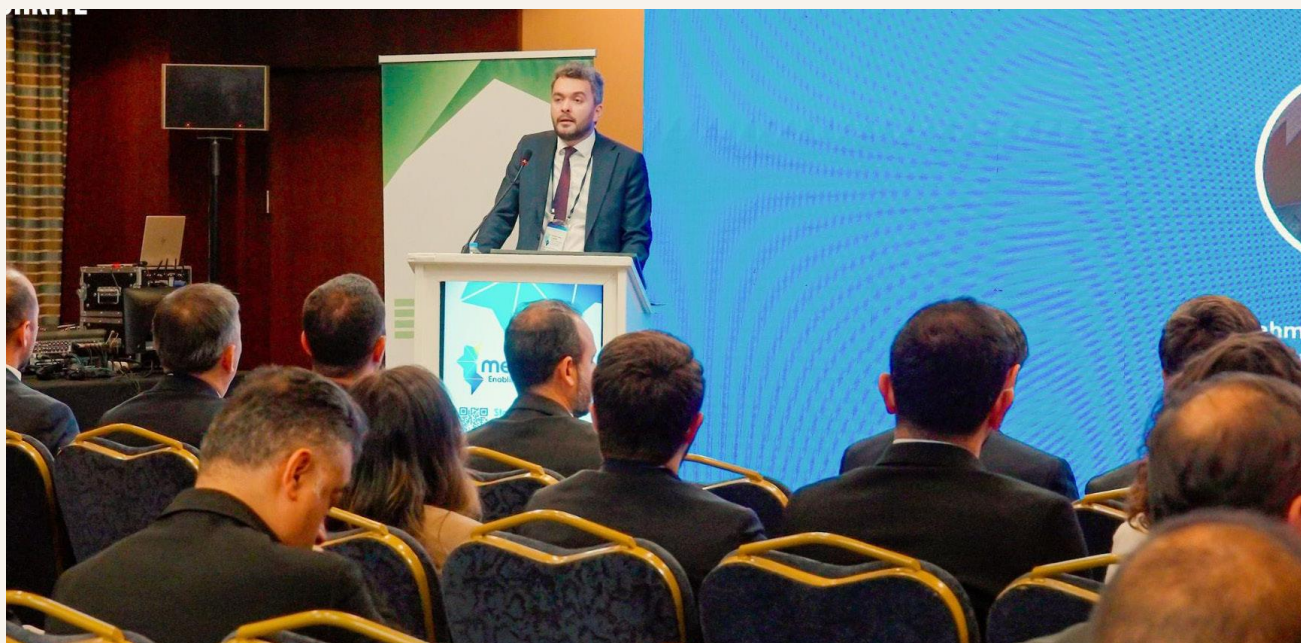
投資・財務局、OKR フレームワークで生産性賞を受賞

20 年にわたる卓越した歩みを祝う中、投資・財務局は、内部プロセスの強化と組織の有効性向上を目的に開発された目標・主要成果（OKR）フレームワークが、生産性プロジェクト賞の公的機関部門において、産業技術省より生産性賞を授与されたことを誇りを持って発表します。

内部プロセスの強化、組織の優先事項の整合、パフォーマンス監視の改善、および組織の有効性向上を目的に開発された OKR フレームワークは、より機敏で透明性が高く、成果重視の組織を構築するという私たちのコミットメントを反映しています。

この荣誉ある評価は、私たちの 20 年にわたる歩みにおける重要な節目であり、組織の卓越性、イノベーション、そして公共セクターの生産性に対する私たちの献身を再確認するものです。





トルコ、BESS 投資フォーラムでバッテリーエネルギー貯蔵システムへの投資を推進

投資・財務局は、MENALINKS プログラムの下、EDEDER および Guidehouse と共同で開催された BESS 投資フォーラムに参加し、公共セクターのリーダー、プロジェクト開発者、国際金融機関を一堂に集め、トルコにおけるバッテリーエネルギー貯蔵システム（BESS）およびグリッドの柔軟性への投資機会について議論しました。

開会の挨拶を行った投資・財務局ユニットマネージャーのメフメト・ヤヴズ・ギュンゴルは、トルコの強固な規制枠組みと、グリーン投資の地域的拠点としての戦略的潜在力を強調しました。これに基づき、投資・財務局のエキスパートであるハサン・ヤヴズ・ウンサルは、バッテリー統合型再生可能エネルギープロジェクトの強力なパイプラインに支えられ、2035 年までに風力および太陽光発電の設備容量を 120GW に到達させるというトルコの目標を発表しました。

トルコは、持続可能性と投資の結節点において、グリーンエネルギーの地域的拠点としての地位を強化し続けています。



トルコ、日本において機械セクターへの投資機会を強調

投資・財務局は、日本での機械ロードショーの一環として、海外投融資情報財団（JOI）と共同でハイブリッドセミナーを開催し、トルコの機械セクターと投資機会を日本企業に紹介しました。

このセミナーには対面およびオンラインで 50 名近くが参加し、トルコの経済見通し、産業振興政策、主要な機械サブセクター、そしてデジタルおよびグリーン・トランスフォーメーションへの注目の高まりについて取り上げました。投資・財務局のアナリストであるユヌス・エムレ・ギュネシュは、トルコの産業エコシステム、製造業の強み、そして地域およびグローバルなバリューチェーンにおける役割の深化について概要を説明しました。

トルコは、バリューチェーンとイノベーションの結節点において、先端製造業の拠点としての地位を強化し続けています。



トルコ、イタリアとのグリーンエネルギーパートナーシップを強化

CDP Cassa Depositi e Prestiti が投資・財務局、Simest SpA、SACE、ANIE Federazione と共同で開催した「イタリア・ミーツ・トルコ：クリーンエネルギー移行」では、イタリアとトルコの企業が一堂に会し、風力、太陽光、蓄電システム、EV 充電インフラへの投資機会を模索しました。COP31 の開催地となるトルコにおいて、本イベントでは、二国間パートナーシップと技術移転がどのようにクリーンエネルギーへの移行を加速させることができるかを検討しました。

ウェビナー中、投資・財務局のエキスパートであるハルン・コクサルは、「トルコのエネルギー移行と投資見通し：COP31 に向けたイタリア・トルコ協力の機会」と題されたセッションでプレゼンテーションを行い、トルコのグリーン移行ロードマップと、主要なクリーンエネルギーセクター全体における投資見通しの高まりを強調しました。

トルコは、持続可能性と投資の結節点において、グリーンエネルギーの地域大国としての地位を再確認しています。



トルコ、国際タカフル・サミットでイスラム金融のビジョンを発表

タカフルおよびイスラム金融業界における主要な世界的集会の一つである国際タカフル・サミットが、ロンドンで政策立案者、金融機関、業界リーダーを集めて開催されました。

サミットの一環として、投資・財務局のカントリーアドバイザーであるエネス・ギュゼル氏が、「世界の金融センターとタカフル拡大の次のフロンティア」と題したパネルディスカッションに参加し、世界のタカフル業界の未来におけるトルコの役割の増大と、その継続的な拡大を支援する上での国際金融センターの重要性を強調しました。ギュゼル氏はまた、「トルコの世紀における投資の大国」と題したプレゼンテーションを行い、トルコの投資環境とイスタンブール金融センター（IFC）における最新の動向について洞察を提供しました。

プレゼンテーションでは、IFC のインセンティブ枠組み、世界的なポジショニング、そしてイスラム金融と気候金融の主要な地域ハブとなるというビジョンに焦点を当てました。

同氏はまた、COP31 に向けたトルコの気候変動に関する野心について概説し、地域の金融統合を促進しつつタカフル業界の持続可能な成長を支援する上でのイスタンブール金融センターの戦略的役割を強調しました。

このサミットは、投資の大国であり、参加型金融の新たな地域センターでもあるトルコの強みを紹介する貴重なプラットフォームとなりました。



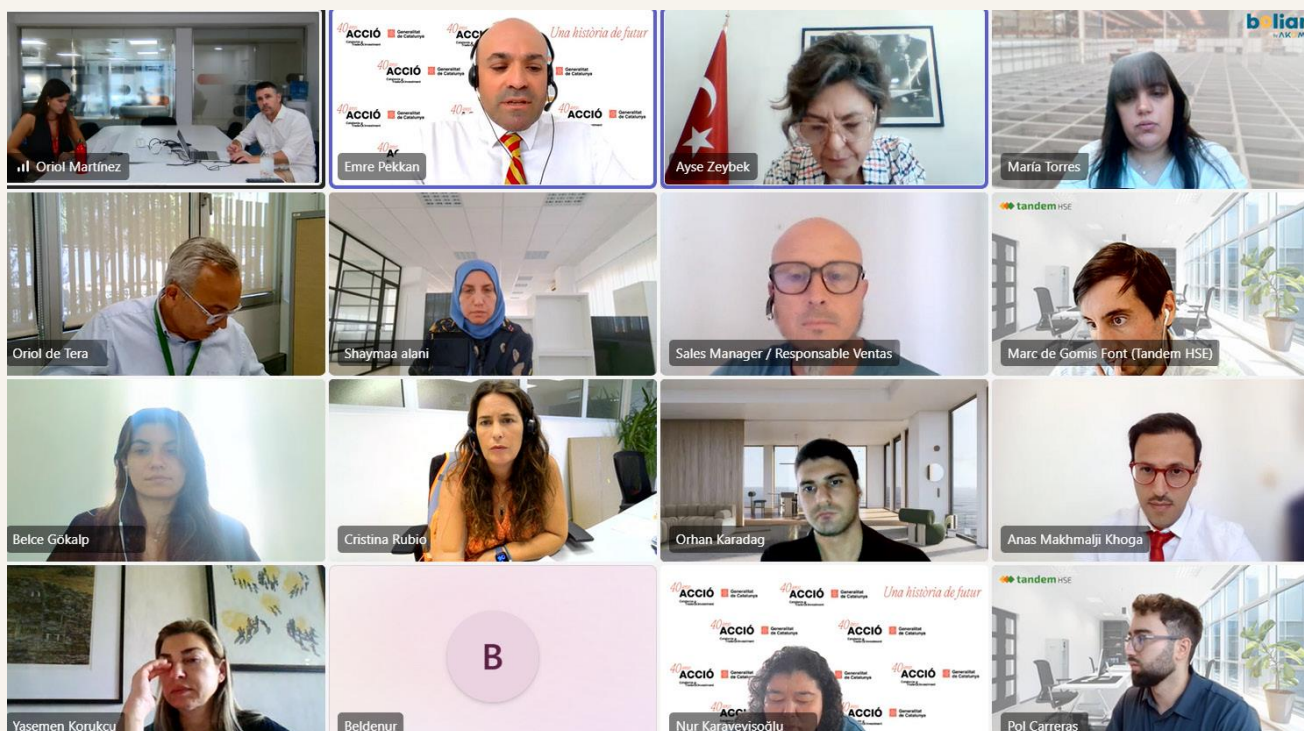
トルコ、米国のビジネスリーダーにデジタルおよびサイバーセキュリティのエコシステムを促進

投資・財務局のカントリーアドバイザーであるアリシア・ソンソン氏は、ワシントン DC のベライゾン本社で開催された、TurkNetwork と Young MUSIAD の共催によるサイバーセキュリティ・ネットワーキング・イベントで講演を行いました。

このイベントには、起業家、テクノロジーリーダー、サイバーセキュリティの専門家、そしてトルコ系アメリカ人のビジネスコミュニティのメンバーが集まり、サイバーセキュリティ、イノベーション、国際協力における新たなトレンドについて議論しました。

ソンソン氏は挨拶の中で、トルコの成長するテクノロジーおよびイノベーションエコシステム、デジタルインフラとサイバーセキュリティに対する同国の戦略的投資、そしてトルコへの進出を目指す国際企業が利用可能な機会について強調しました。また、ソンソン氏は、テクノロジー企業を支援し、国境を越えた投資とパートナーシップを促進する上での同局の役割についても強調しました。

このイベントは、創業者、業界リーダー、エコシステムのステークホルダーと交流し、テクノロジー投資の大国としてのトルコの強みに対する認識を高める絶好の機会となりました。



トルコ、カタルーニャ企業に化学分野の投資機会を紹介

投資・財務局は、ACCIÓ（カタルーニャ州政府企業競争力庁）と共同でオンライン投資セミナーを開催し、カタルーニャの化学企業を招いて、トルコの成長する化学産業における投資機会を探りました。

このイベントにはビジネスリーダー、投資家、上級幹部が集まり、トルコの競争上の優位性、戦略的な立地、化学セクター全体で拡大する機会について議論しました。冒頭では、在バルセロナ・トルコ共和国総領事アイシェ・ゼイベック氏が挨拶を行いました。

投資・財務局を代表して、カントリーアドバイザーのヤセメン・コルクチュ氏、専門家のアナス・マクマルジ・コガ氏、アナリストのベルチェ・ギョカルプ氏がイベントに出席しました。ギョカルプ氏はトルコの投資エコシステムに関するプレゼンテーションを行い、同国の経済的強み、投資インセンティブ、そして投資の大国としての戦略的な立地を強調しました。



Türkiye's Quality FDI Momentum



WORLD INVESTMENT REPORT 2026

2025 FDI Inflows – Türkiye

USD 13 Billion

Outpacing both global and developing economy trends



Highlighted Best Practices in Türkiye to Improve Investment Climate

Targeted Industrial Prioritization

HAMLE: Technology Focused Industrial Movement Program

1,126

Priority Products

414

Technology Areas

34

Critical Minerals

Clean Power As a Locational Advantage

Pre-licensed renewable energy projects with co-located battery storage (as of June 2024)

SUPPORTERS

- Investment incentives
- R&D funding
- SME support

TARGETED HIGH-UPTIME SECTORS

- Data centers
- Advanced manufacturing
- Electric vehicle industries

32 GW

Renewable Capacity

Green Transformation Supporting Competitiveness

Aligning investment incentives with the green transition

KEY STRUCTURAL DRIVERS

- European Green Deal
- Carbon Border Adjustment Mechanism (CBAM)

COMPETITIVENESS ENABLERS

- Green finance
- Emissions monitoring
- Carbon-pricing readiness

WHY TÜRKİYE

TÜRKİYE: HUB FOR INNOVATION AND GROWTH

Within a 4-hour flight, easy access to multiple markets of USD 32.1 trillion GDP, USD 10.3 trillion trade, and 1.3 billion people.

Booming economy reaching **1,358 billion in 2024**, up from USD 238 billion in 2002.

Over **USD 288 billion** of FDI between 2003-2025, while the total amount of FDI attracted between 1980-2002 stood at USD 15 billion.

ACCESS TO MULTIPLE MARKETS

EURASIA

GDP: \$2.8 trillion
Import: \$467 billion
Population: 244 million

EUROPE

GDP: \$24.9 trillion
Import: \$8.3 trillion
Population: 595 million

MENA

GDP: \$4.4 trillion
Import: \$1.5 trillion
Population: 472 million

TOTAL

GDP: \$32.1 trillion
Import: \$10.3 trillion
Population: 1.3 billion

Source: IMF, WTO, TurkStat 2024

REAL GDP GROWTH

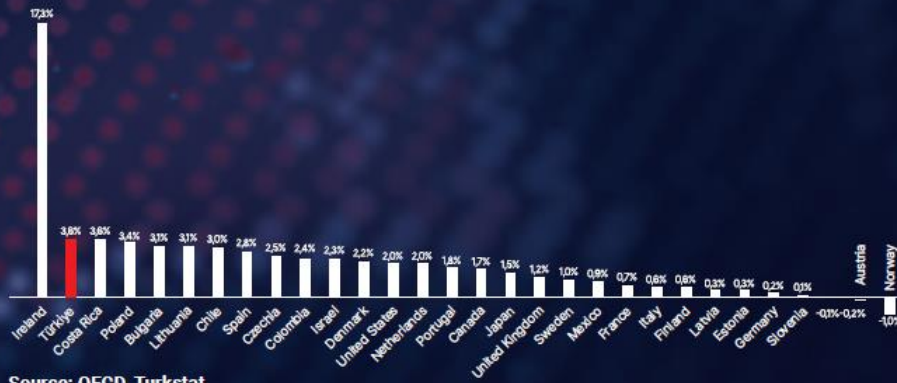
(2025-H1, year on year growth)

G20 Economies



Source: OECD, Turkstat

OECD Economies



Source: OECD, Turkstat

TÜRKİYE

was the fastest growing economy of the OECD members during 2003-2025, with an average annual growth rate of

5.3%

CUMULATIVE FDI INFLOWS TO TÜRKİYE

(USD BILLION)



Source: CBRT

- Investment incentives as well as R&D support.
- Equal treatment to national and global investors guaranteed by law.
- 7 days to set up a company in Türkiye, while it takes an average of 8,5 days in OECD high-income countries.
- (World Bank Doing Business 2020)

HIGHLIGHTS

The fastest growing economy in Europe and one of the fastest growing economies in the world with an average annual GDP growth rate of 5.3% over the past 21 years.

(2003-2024, TurkStat)

SOPHISTICATED CONSUMER BASE

**A population of 86.1 million,
half of which is under the age of 34,9.**

(2024, TurkStat)

**Largest youth population compared with
the EU.**

(2023, Eurostat)

**98.2 million fixed and mobile broadband
internet subscribers.**

(2024, Information and Communications Technologies Authority)

SKILLED AND DEDICATED LABOR FORCE

**Around 36 million young,
well-educated and motivated professionals.**

(2024, Turkstat)

**Around 960,000 students graduate annually
from 208 universities.**

(2024, CoHE)

TÜRKİYE'S INFRASTRUCTURAL DEVELOPMENT

 **USD 215 Billion**

Total value of PPP contracts in Türkiye during the 1986-2024 period.

 **272**

Total number of PPP projects completed in Türkiye during the 1986-2024 period.

 **27,797**

Total number of hospital beds under PPP projects.
18 healthcare campuses have been completed with a total number of 27,797 bed capacity.

 **58**

Number of airports in Türkiye increased from 26 in 2002 to 58 by 2024.

Who we are

Investment and Finance Office is the official organization that:

- Promotes the investment environment of Türkiye and provides assistance to investors.
- Reports directly to the President of the Republic of Türkiye.

How we help

- Multilingual (Turkish, English, German, French, Italian, Arabic, Spanish, Chinese, Japanese and Korean)
- One-Stop-Shop approach
- Result-oriented
- Private sector approach with full confidentiality
- Focusing on high-tech, value-added and employment generating investments.

What we do

- Presenting investment opportunities to the investors and providing assistance during all the stages of their investments.
- Serving as the reference point for international investors and the point of contact for all institutions engaged in promoting and attracting investments at national, regional and local levels.
- Offering free-of-charge services including market information and analyses, site selection, B2B meetings, coordination with relevant governmental institutions, and facilitating legal procedures and applications such as establishing business operations, incentive applications, obtaining licenses and work permits.

OUR GLOBAL LOCATIONS

	USA
	GERMANY
	ITALY
	SPAIN
	NETHERLANDS
	TÜRKİYE
	S. ARABIA
	UAE
	QATAR
	CHINA
	S. KOREA
	JAPAN
	UK
	SINGAPORE
	MALAYSIA

SECTORS

Agrofood
Automotive
Chemicals
Defense & Aerospace
Energy
Financial Investments & Startups
ICT
Infrastructure
Life Sciences
Machinery
Business Services
Financial Services
Mining & Metals
Real Estate
Tourism



Explore untapped investment opportunities across a variety of industries in Türkiye.

FOLLOW US



@InvestTurkey
@InvestTurkiyeAR
@InvestTR_DACH
@InvestTR_JAPAN



@InvestTurkey
@investinturkiyear
@investinturkeyDE



@invest-in-turkey
@investinturkiyear
@investtrdach



@InvestinTürkiye



@investinturkiye_en
@investinturkiye_ar



SUBSCRIBE

